

第3回委員会における検討内容と意見等の整理

第3回委員会における検討内容の整理

(1) 第2回委員会における検討内容と意見等の整理【報告事項】

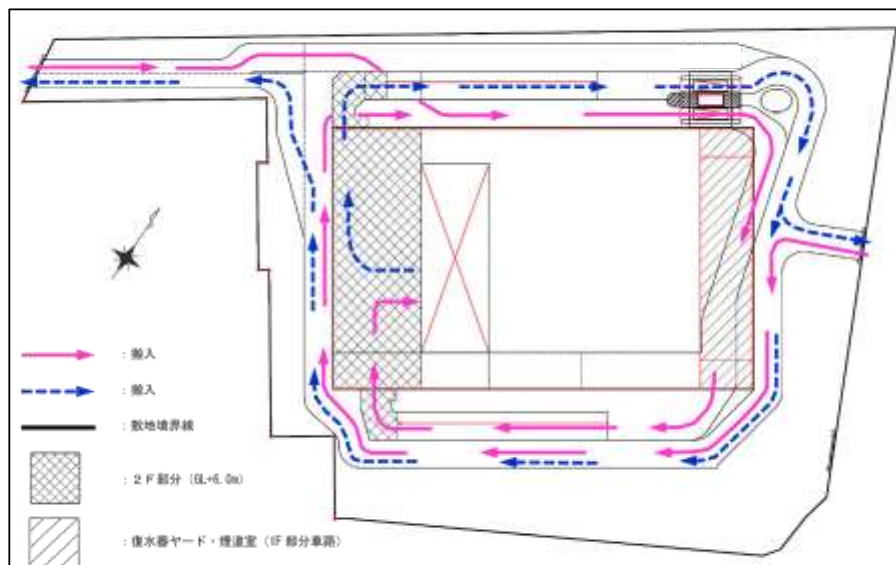
- ・事務局より資料1に基づき報告があり、第2回委員会における検討内容と意見等を確認した。
- ・ご質問のあった高圧ガス保安法上の管理者選任は不要であると報告された。

(2) 施設配置計画の検討について

- ・事務局より資料2に基づき、工場棟の大きさ、施設配置条件、煙突の再利用、施設配置計画についての検討結果が報告された。審議の結果、事務局提案の施設配置計画を妥当と判断し、提案どおり認めることとした。

①配置計画を検討した結果、ごみピットの位置を西側に、煙突の位置を東側に配置することが、最も前提条件に合った配置・動線計画の例である。また、北側敷地境界における日影規制に配慮した施設配置が必要である。

②煙突については、耐用年数や耐震性を調査したところ、必要な改修を行えば再利用が可能であるため、煙突を再利用することが望ましい。



- ・「煙突を再利用した場合にかかる維持管理費や緑化の維持管理費は、今後検討していくべきであるため、その旨を記載しておいた方がよい」との意見があった。

(3) 災害廃棄物処理・防災機能の検討について

- ・事務局より資料3に基づき、廃棄物処理システムの強靱化、防災活動の支援についての検討結果が報告された。審議の結果、事務局提案を妥当と判断し、提案どおり認めることとした。
 - ①施設や設備の耐震化、損壊防止、浸水対策等を具備した施設整備により施設の強靱化を図る。
 - ②災害発生時にも運転を7日間継続できるような設備や貯留量を確保し、地域の防災拠点として機能するよう施設整備を図る。
 - ③水害時避難ビル等に指定されることを想定し、地域住民が避難できるよう施設整備を図る。
 - ④「大阪広域環境施設組合 業務継続計画」に基づき、災害対策本部の代替本部設置場所に指定されることを想定し、災害発生後速やかに非常時優先業務を実施できるよう施設整備を図る。
 - ⑤災害に強いごみ焼却工場となるよう設計し、地域住民にライフラインの提供ができるよう整備することを検討する。
- ・「構造体“Ⅱ類”の『割増係数1.25』とプラント架構“重要度Ⅱ”の『係数0.65』が大きく違うので耐震性としてアンバランスにならないよう、設計時に注意してほしい」との意見があった。
- ・「浸水対策であるが、防水扉等を設置しても工場棟への浸水を完全に止めることはできないため、当初からそれを排水する機能を追加しておくべきである」との意見があった。

第3回委員会における意見等の整理

(1) 第2回委員会における検討内容と意見等の整理【 報告事項 】

・特になし。

(2) 施設配置計画の検討について

○図2-5にある“筒元”と“筒先”の意味を教えてください。

→“筒元”が煙突外筒の内面側で“筒先”が煙突外筒の外側に向けた中心部である。

○資料としては“内部”、“外部”に修正した方が分かりやすい。

→ご意見のあったとおり、修正する。

○現時点で推定している工場棟の大きさでの緑化率はどれぐらいなのか。

→実際には復水器やスロープもあるので、建築面積が分からない。そのため、緑化率の算定はしていない。

○図2-8の4階平面図（イメージ）では、復水器の配置が分かりづらいので、説明してほしい。

→復水器下部は車路になっており、柱で支えた構造物の上に復水器を配置している。

○復水器は建屋と一体でなくても重量的に大丈夫ということか。

→実際に東淀工場で復水器下部が車路になっており、柱で支えた構造物の上に復水器を配置している。鶴見工場も同様の形状で考えている。

○図2-2、図2-3の一般来訪者の搬入動線が図の右下から出た後、なくなっているのはなぜか。

→図2-2、図2-3では、搬入車両と干渉する地点のみを記載しており、搬入車両と同一の動線は色を分けていない。

(3) 災害廃棄物処理・防災機能の検討について

○プラント用水の確保する量はどれぐらいなのか。

→設備の容量が決まっていないので、プラント用水の量の検討はしていない。

○プラント用水の水槽は水が入っている分、質量が大きいので、注意して水槽架台などの設計をしてほしい。

→現在稼働している工場では、受水槽などの大量の水を保管する水槽は地中の建物の中に収めている場合が多く、陸置き水槽は少ない。

○地盤や杭はどうするのか。

→建物に合わせて杭は改めて打設することになる。現在ある杭と干渉するところの取り扱いなどの検討も進めていく。杭の深さはこれまでのボーリング調査である程度、把握ができていますので基本的に深さは変わらないと考えている。

○排ガス処理方式が湿式から乾式に変わるが、それによる水や薬品の量はどれくらい変わるのか。

→乾式での水や薬品の使用量が分からないため、詳細は事業者提案を受けて決めることになる。

○煙突を再利用しても、耐震基準を満足しているのか。

→現在の煙突をそのまま利用するのは既存不適格であるが、耐震基準を満足できるように改修していくことになる。